

申請事業計画書（自立促進事業補助金）

事業名	アスペルガー症候群を含む発達障がい者自身の理解を深め、周囲への理解を広める事業		
団体名	アスペルガーの自分取扱説明書		
事業費総額	136,310 円	補助申請総額	100,000 円

① 事業の概要

どのような事業ですか。簡潔に書いてください。（3行程度）

アスペルガー症候群とはどんな障がいなのか？どんな特徴を持ち、どんな困難を抱えているのか？正しい情報を当事者自身も支援者も理解し深めるために、コミュニティーおよび情報交換の場としての交流会、ワークショップ等を行う事業。

② 事業の背景

評価項目【公共性・ニーズ】

事業をはじめようと思ったきっかけは何ですか。誰/何を対象として、この事業を行いますか。また、現在の課題をどうしたいですか。

○自分自身と子どもの障がいに向き合うために、2010年9月、交流会を開きました。そこで出会う人々と気持ちをシェアしたり、良い影響を受け合うことができればいいなと願ったことでした。その交流会で出会った人々と何かできないか？そんなきっかけで始まったのが、この事業です。

○日本人の約100人に1人の割合でアスペルガー症候群とそれに類似する障がいの人は存在すると言われています。ですが、見えない障害といわれるように、周りの理解や協力を得ることが難しいのが現実です。周りの人と、どこかちよつと違って見える彼らは、つい最近まで本来生まれ持った障がい特性を理解されずに、強情である、わがまま、身勝手、親のしつけが悪い、育った環境が良くないなど、無理解からの中傷や差別を受けることがありました。二次障がいを負って、精神疾患に至ったり、犯罪に向かってしまう人もいます。ですが、社会性やコミュニケーション能力に困難を有している先天性の脳機能障害であることが、最近解ってきました。まだまだ、研究段階で、診断できる医師は少なく、親も学校の教師も、当事者本人でさえ「生きにくさ」の原因を理解できずに苦しんでいる人たちが少なくありません。

現在浦安市には、発達障害を支援する団体及び事業がいくつか存在しています。しかし、早期発見、早期療育の考え方に基づき幼児対象のものがほとんどで、それ以降の子どもと大人にとっての相談窓口や交流の場がありません。そこで私たちの活動には、発達障がいの種類を限定せず、年齢の制限も設けずに、困難を抱えて過ごしている当事者とその親・支援者のためのコミュニティーおよび交流の場を推進していきたいと考えています。2011年度も月1回のペースで交流会を開き、専門家を招いての講演会やワークショップも開催したいと考えています。自己資金では限界があり、補助金申請をいたしました。

評価項目【計画性】

この事業はどのような計画内容で行いますか。箇条書きしてください。

○月1回の交流会

○年に4回ほど、専門家を招いての講演または、ワークショップの開催。

○情報発信また交流の場としてホームページ開設。

○交流会、講演会、ワークショップのお知らせ等のチラシ作りと配布。

④ 事業のスケジュール

③の計画内容を下のスケジュール表に記入してください。

なお、下表の『場所や人数など』欄に参加予定人数やスタッフ人数を記入してください。

時期	内容	場所や人数など
4月 ～ 6月	○事業内容の確認と打ち合わせ ○毎月1回 交流会 ○ワークショップ開催	WAVE101 役員5名 WAVE101 役員5名 参加者20名 WAVE101 役員5名 参加者20名
7月 ～ 9月	○毎月1回 交流会 ○講演会、講習会についての打ち合わせ ○講演会開催 ○決算、総会	wave 1 0 1 役員5名 参加者20名 wave 1 0 1 役員5名 未定 役員5名 参加者50名 未定
10月 ～ 12月	○毎月1回 交流会 ○ワークショップ開催	wave 1 0 1 役員5名 参加者20名 場所未定 役員5名 参加者30名
1月 ～ 3月	○毎月1回 交流会 ○反省会と次年度計画会議 ○ワークショップ開催	wave 1 0 1 役員5名 参加者20名 wave 1 0 1 役員5名 場所未定 役員5名 参加者30名